

平成28年度決算に基づく健全化判断比率及び 資金不足比率の公表

平成19年6月に成立した「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、毎年度健全化判断比率及び資金不足比率について算定し、地方公共団体（県・市町村）は、監査委員の審査に付した上で、議会に報告し、公表することが義務づけられました。

【東串良町の健全化判断比率の状況】 数字が低いほど比率は良いことになります。

(単位：%)

実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
— (15.0)	— (20.0)	5.8 (25.0)	— (350.0)

- 1 数値がマイナスになる場合は、「—」を記載しました。
- 2 早期健全化基準を括弧内に記載しました。

※ 括弧内の早期健全化基準を超えるとどうなりますか？

「財政健全化計画」の策定が義務付けられ、「財政健全化基準未滿」となるように自主的な改善努力を行っていくこととなります。

4つの指標の概要

① 実質赤字比率

町の一般会計等赤字の程度に基づき、財政運営の悪化の度合いを示すものです。

② 連結実質赤字比率

町の一般会計と特別会計の赤字や黒字を合算し、町全体としての赤字の程度に基づき、町全体としての財政運営の度合いを示すものです。

③ 実質公債費比率

町が起債（借金）をする際、許可が必要かどうかを判断する基準の一つで、町の一般会計に占める借金だけでなく、他の市町村と共同でつくっている一部事務組合などの借金も反映させ、「より実態に近づけた指標」として、平成17年度の決算統計から初めて導入されました。この比率が、18%を超えた自治体は、地方債の許可が必要です。25%を超えると単独事業の起債が制限されます。公債費（借金の返済額）の状況から見た、財政運営の弾力性を測定する指標です。

④ 将来負担比率

町の一般会計等の借入金（地方債）や負担金など将来支払っていく可能性のある負債等の現時点での残高に基づき、将来財政を圧迫する可能性の度合いを示すものです。

【東串良町の資金不足比率の状況】

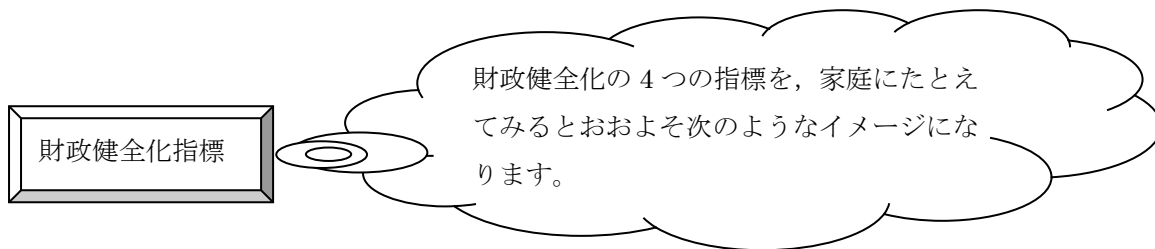
(単位：%)

会計名	資金不足比率
簡易水道事業特別会計	—

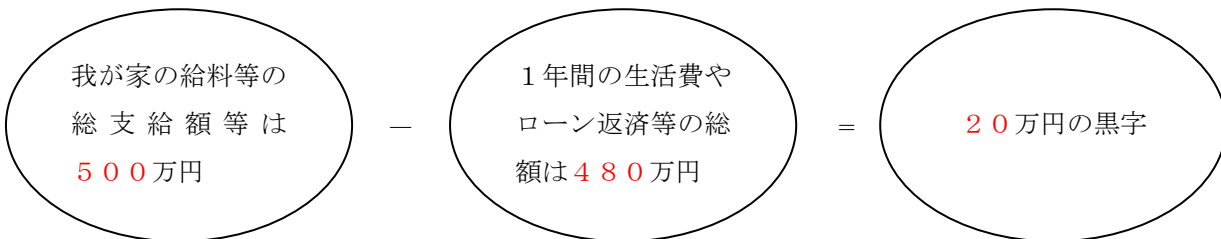
1 資金不足比率がないため、「—」を記しました。

① 資金不足比率

簡易水道などの公営企業の資金不足を、公営企業の事業規模である料金収入の規模と比較して指標化し、経営状態の悪化の度合いを示すものです。



実質赤字比率



20万円の黒字だね。赤字ではなかったのが我が家の「実質赤字比率」は、表示する必要はないね。

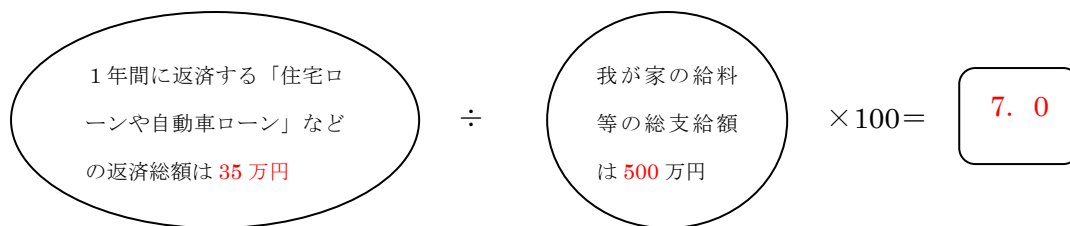
連結実質赤字比率

我家の収入総額は **500** 万円、生活費やローン返済額は年間 **480** 万円で **20** 万円の黒字 (一般会計)

我家の家計も黒字、野球チームの収支も黒字だった。合計しても赤字ではないから「連結実質赤字比率」は心配いらぬね！

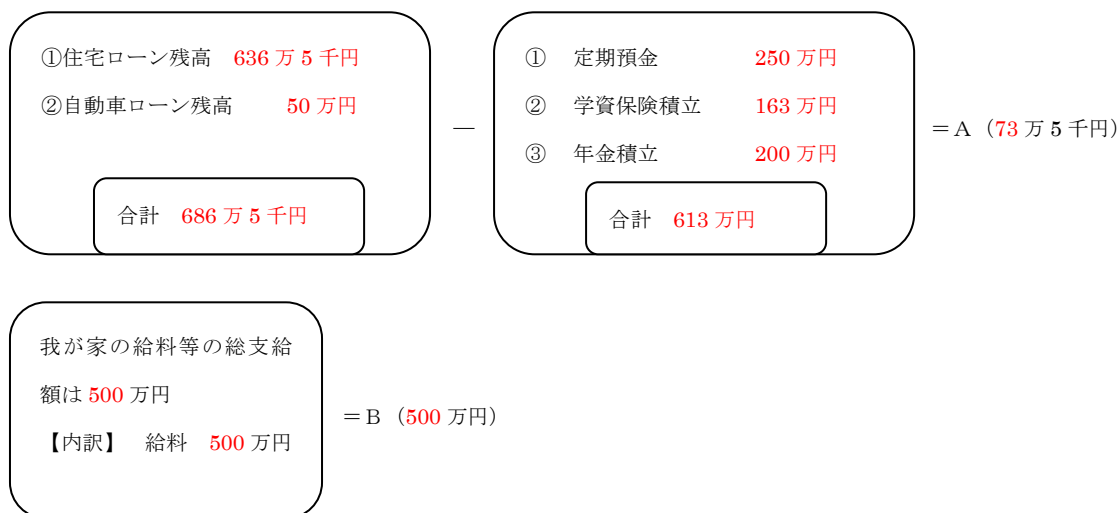
お父さんが、青少年健全育成の一環としてボランティアで「ソフトボールチーム」をつくっています。チームの年間の予算は40万円(年会費として会員より30万円徴収、町より活動補助金として10万円)、1年間に使ったお金は35万円で5万円の残であった。赤字ではなかったため、我家からの追加負担や会費を上げる必要もなかった。(特別会計)

実質公債費比率



我が家の「実質公債費比率」は **7.0** だな。年間のローン返済総額が **125万円**（年収の25%）になれば赤信号だから、不必要な借金は極力抑えるように努力しよう。

将来負担比率



$$A (73万5千円) \div B (500万円) = 14.7$$

借金の総額 **686万5千円** から定期預金等の総額 **613万円** を引いたら **73万5千円** となるね。

それを収入総額 **500万円** で割ると、我が家の「将来負担比率」は **14.7** だね。

危険数値の **350** よりかなり低くて一安心だけど、油断しないで借金を減らし定期貯金を増やして比率を少しずつでも低くしていこう。

※ 上記の内容については、町民の皆様へ「財政健全化指標」についておおまかなイメージをもってもらうように作成しました。あくまでも、参考資料としてご覧下さい。